

無垢材の家具に関する注意

無垢材とは原木から必要な寸法に切り出したままの木材であり、天然木本来の風合いをもつ素材です。合板、繊維板などの加工材とは異なる特徴がありますので、下記内容をよくお読みいただき、末永くご使用ください。

無垢材の特徴

- ・ 無垢材は加工材に比べ調湿機能に優れているため、家具として製品になってからも設置場所の温度や湿度によって、膨張・収縮を繰り返します。それにより、製品に多少の反りや歪み、割れが発生することがあります。
本製品はこれらの変形や割れを最小限に抑えるために、材料の乾燥に十分な時間をかけておりますが、無垢材の特性上、完全に防ぐことはできません。
- ・ 天然素材のため、木目や節、色に個体差があり、カタログや店頭展示商品と多少の違いがあります。
- ・ 木地の色を活かした無垢材の家具は、紫外線などの影響により、時間の経過とともに色味が変化し、より深い味わいが出てきます。
- ・ 本製品は節が入ったホワイトオーク無垢材を使用しています。木の持つ自然の味わいとして、節をそのまま活かした作りになっております。また、ホワイトオーク無垢材は古くから家具や床材に適した素材として親しまれている木材であり、虎斑(トラフ)と呼ばれる虎の毛並みのような木目が現れる特徴があります。

使用上の注意

- ・ 硬く重いものを落としたり、引きずったりしないようにしてください。キズの原因となります。
- ・ 汚れや水分がついた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ 湿った状態で放置しないでください。また濡れた布などを置いたままにしないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となります。
- ・ 熱い鍋などを直接置かないでください。変色などの原因となりますので、必ず鍋敷きをご使用ください。
- ・ 直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となります。
- ・ 直射日光のあたる部屋へ設置する場合はカーテンなどを利用し、直接日光が当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となります。
- ・ 暖房器具を使用する場合は室内温度は適正に保つようにしてください。冬場など暖房器具による室内の極端な乾燥は無垢材の割れや反りの原因となりますので、加湿器などで湿度の調整をお勧めします。

お手入れの方法

- ・ 別紙参照

木部(オイル仕上げ)のお手入れ方法について

本製品の木部はオイル仕上げを採用しています。

オイル仕上げは木部表面に塗装膜のある塗装仕上げと異なり、木部に対して浸透性があるため塗装膜がありません。

よって、木の自然な風合いを活かした仕上がりとなっております。

未永くご使用いただくために、下記のお手入れ方法をお勧めします。

■毎日のお手入れ

通常は乾いた布で乾拭きをして埃や汚れを拭き取ります。

それでも落ちない汚れは水分を含ませ固く絞った布で水拭きをしてください。

■定期的なお手入れ

オイル仕上げには木部の乾燥を防ぎ、汚れを付きにくくする効果がありますが、ご使用いただくうちに摩擦や水拭き等ではほんの少しづつ表面のオイルが剥げていきます。

するとツヤがなくなってきたり、表面に少しガサつきが感じられるようになります。

テーブル天板のように使用頻度の高いものであれば3ヶ月に1回くらい、それ以外の家具には1年に1回くらいの頻度で下記のお手入れを行ってください。

- 1) 布やキッチンペーパーに「※A：メンテナンスオイル」を含ませ、木部に薄く塗り拡げ木目に沿ってよく擦り込みます。汚れ落としの効果もあるため、布が汚れてきたら新しいものと取り替えてください。
- 2) メンテナンスオイルが乾かないうちに新しい布でしっかりと乾拭きをしてください。
- 3) 乾くまで放置します。温度や湿度、メンテナンスオイルの量にもよりますが、2～8時間程度乾燥させてください。

■汚れが気になる場合のお手入れ

下記のお手入れを行ってください。（汚れによっては完全に除去できないものもあります）

- 1) 床が濡れないように家具の下に新聞紙などを敷いてください。
中性洗剤と水を含ませたスポンジで汚れている面全体を擦り、汚れを洗い落とします。
汚れた部分だけではなく、汚れのある面全体を擦ることでお手入れ後のムラができにくくなります。
汚れ落としが済んだら、水を含ませ固く絞った布で洗剤が残らないようにしっかりと拭き取ります。
2時間程度乾燥させます。
- 2) 完全に乾いてからサンドペーパー（400番程度）で汚れを洗い落とした面全体を軽く研磨します。
必ず木目に沿って研磨してください。サンドペーパーが木目に沿っていない場合、研磨痕が残ることがあります。
表面のガサつきが無くなるまでが目安です。
研磨後は乾いた布で粉や埃が残らないようにしっかりと拭き取ります。
- 3) 布にメンテナンスオイルを含ませ、汚れを洗い落とした面全体に薄く塗り拡げ木目に沿ってよく擦り込みます。
メンテナンスオイルが乾かないうちに新しい布でしっかりと乾拭きをしてください。
- 4) 乾くまで放置します。温度や湿度、メンテナンスオイルの量にもよりますが、2～8時間程度乾燥させてください。

※A：メンテナンスオイルについて

- ・イデーではLivos（リボス）社の「ドライデン ポリッシュ 560」を推奨、販売しています。
亜麻仁油を主成分とする天然オイルで、汚れ落とし、素材の表面保護に効果的です。
定期的なメンテナンスをすることで、ツヤを保ち濡れ色感のある美しい表情を作ります。
- ・イデーショップ各店での取り扱いに関しては店舗スタッフまでお問合せください。

※注意

- ・メンテナンスオイルは子供の手の届かない所で保管するようにしてください。
- ・亜麻仁油を含んだ布やキッチンペーパーには発火性があります。
使用した布は放置せず、必ず金属製の密閉容器に入れるか、水に浸した状態で密閉し廃棄してください。